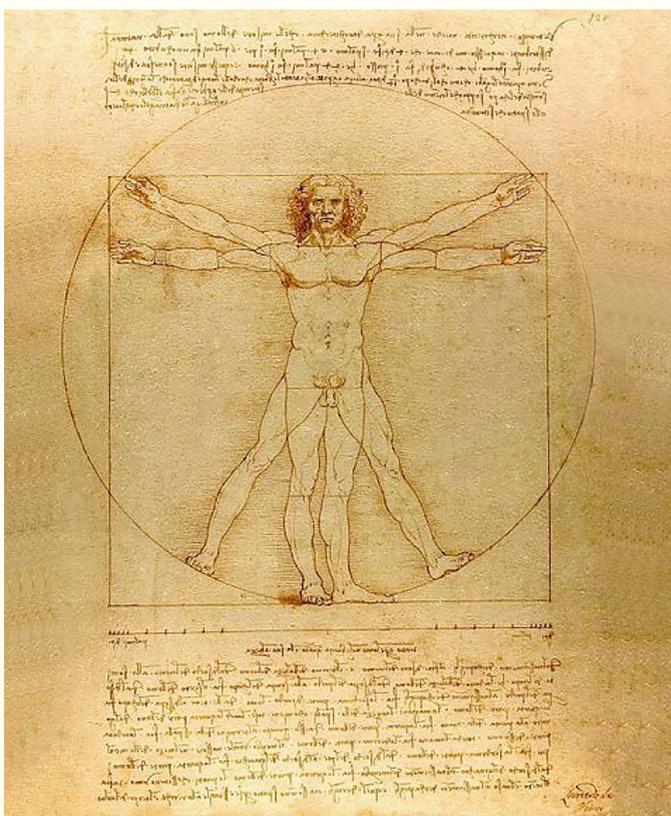


イノベーション 新結合 Innovation

フィロソフィー 哲学
Philosophy

メカニカルアート 技術
Mechanical Art



レオナルド・ダ・ヴィンチ (1452~1519)

イタリアのルネサンス期を代表する芸術家。
音楽、建築、数学、幾何学、解剖学、生理学、動植物学、天文学、気象学、地質学、地理学、物理学、光学、力学、土木工学など様々な分野に顕著な業績と手稿を残した。
科学的創造力の面では、ヘリコプターや戦車の概念化、太陽エネルギーや計算機の理論、二重殻構造の研究、さらには初歩のプレートテクトニクス理論も理解しており、人類史上最も多才な人物であると考えられている。



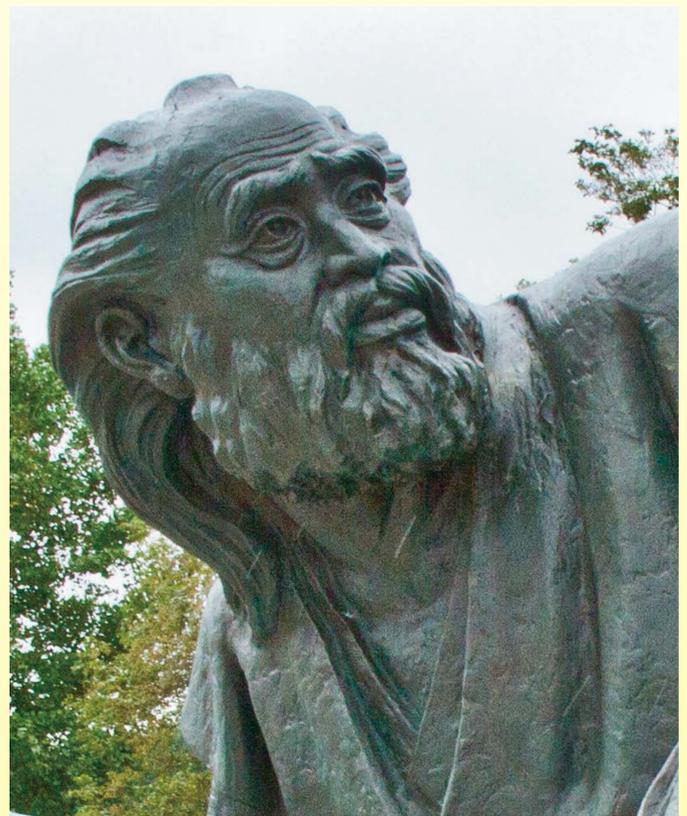
墨子 (紀元前470~390)

中国戦国時代に興った思想家集団「墨家」の始祖。
諸子百家の一つとされ博愛主義(兼愛交利)を説き、その独特の思想に基づいて、武装防衛集団として各地の守城戦で活躍した。
墨子が九回に亘って楚の攻撃から宋の城を守り通したという故事から、古い習慣や自説を頑なに守ることを「墨守」というようになった。



西周 (1829~1897)

江戸時代後期から明治時代初期の日本の哲学者、教育家、啓蒙思想家、幕臣、官僚。
石見国津和野藩(現、島根県津和野町)の御典医の家柄、漢学の素養を身につける他、天保12年(1841年)に藩校・養老館で蘭学を学んだ。
明治6年(1873年)福沢諭吉らと共に明六社を結成し、啓蒙家として西洋哲学の翻訳・紹介等、近代思想を広く普及させた。また「philosophy=哲学」「Mechanical Art=技術」など多くの哲学・科学関係の訳語を考案した。森鷗外は従弟にあたる。



周藤 彌兵衛 (1650~1752)

二宮尊徳翁が生まれる50年前に治水を成し遂げた偉人。
日吉村(現・松江市八雲町)を流れ、洪水を繰返す暴れ川であった意宇川を、56歳にして一念発起し、岩山の剣山を切り抜き、川の流れを変える工事に取っかかった。
42年後、97歳にして「日吉切通し」を完成させ、意宇川の流れを変えることに成功した。
102歳で大往生をとげた。

日本は(昭和20年)8月15日を終戦記念日と決めました。
来年は平成から新しい年号に変わります。人類の戦争を終わりにすることを国是と定め、その日を人類の終戦記念日にすべく、その先駆けを島根・鳥取・沖縄が務めることをここに提言します。

日本国憲法 前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。



人間自然科学研究所